

＜先週の説教から＞

『ルカ 83 — この言葉を耳に入れて

おきなさい』 武田真治 牧師

エゼキエル書 2:1~6 ルカ福音書 9:43~45

今日の箇所ではイエス様が面白い言い方をしておられます。即ち「この言葉をよく耳に入れておきなさい。」です。普通にみ言葉を語られる際には「よく聞きなさい」とか「よくよくあなたがたに言うておく」というような言い方を為されますが、ここは珍しい言い方を敢えて用いておられると言ってよいでしょう。原文をそのまま順番に訳せば「置いておきなさい あなたがたは ~の中に 耳 あなたがたの」となっています。これは今すぐに聞いて納得し理解して実行に移すようにと言われておられるのではなく、むしろ、今は分からなくてもいいから「耳に入れておけ＝覚えていなさい」ということを命じておられる言葉遣いなのです！

では、どのような言葉をそうしなさいと言われていたのかと見ますと、それが「人の子は人々の手に引き渡されようとしている。」です。この「人の子」とはイエス様がご自分を指して言われる時の呼称であり、「人々の手に引き渡される」とは、イエス様がまもなく裁判所へと引き渡され、更に十字架上で死刑へと引き渡されるということでしょう。この出来事が、この後、実際に起こってしまうことは、既にこの後の成り行きをよく知っている私たちには分かりますが、この時（この後のことを知る由もない）そばで聞いていた弟子たちにとってみれば、いったい何のことなのか、全く理解できなかったことでしょう。問題は、なぜこの時にイエス様がこの事を敢えて言われておられるのかという点です。既に、9章22節でも同じ出来事について触れておられたのに。

その状況が、直前の悪霊に取りつかれた息子をイエス様が癒してあげられたという奇跡を行われた時でした。それ故に「人々は皆、神の偉大さに心を打たれた。」そして「イエスがなさったすべてのことに、皆が驚いていると、イエスは弟子たちに言われた」のが今日の言葉なのです。不思議だと思います。周囲の人々がイエス様の凄さとその力に驚き、誉めている時に、敢えて「（この）人々の手に引き渡される」こ

とになるのだと予告をされたのです。どうでしょう、今は、神様やご自分のことを素晴らしいと讃美し大歓迎をしている人々が、いずれ、自分のことを『十字架につける』と叫ぶ人々になってしまうと。この時イエス様の心の中はとても辛く、悲しい思いであられたのではないのでしょうか。

大事な点は弟子たちにそのように言われている点です。つまり彼らへの《教え》だということなのです。それは、この世の中の人達の評価や評判はその時々で移り変わるものであり踊らされてはいけないことを、人々の行動の背後に何があるのかをちゃんと見ていなさいという《教え》でしょう。

私たちもまた 80 年前に世の中の価値観が全く変わってしまった出来事を知っているのではないのでしょうか。忘れてはいけない出来事ではないかと思います。このイエス様の言葉は、私たちに対しても、「よく耳に入れておきなさい。」とされているその状況はあるのではないかと思うのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 8月26日(水) 20:00
II. 8月27日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記
祈祷主題: 会堂管理委員会を覚えて
担当者: (水) UY (木) HM
祈りに覚える人 TNさん TAさん

*ひつじ雲の会 8月24日(月) 10:00~

【教勢報告】

主日礼拝 男17 女56 計73
祈祷会 I. 男4 女1 計5 II. 男1 女6 計7
日曜学校 幼稚科6 小中科8 計14

【次週主日礼拝】 8月30日(日)

聖書: 詩編 63:1~12
マタイによる福音書 5:6

説教: 「詩編63 — 私の魂はあなたを渴き求めます」 武田真治 牧師

讃美歌: 361(1)、32、127、515、453、
27(1)

【次週当番表】

司式: SY 長老 奏楽: NY 礼拝: HN 長老
献金: TN TK 受付: OK HH
会堂準備: IN IY IA IK
看板: II 週報: TM お花: 休み

【次週集会予定】

礼拝前: ・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム
礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・長老会

67-34

週報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 8月 23日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549